

Ⅱ．事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
	基金造成費	(仮称) 歴史と未来の交流館建設事業 (基金造成)		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		茨城県東海村		
交付金事業実施場所		茨城県那珂郡東海村村松地内		
交付金事業の概要		「(仮称) 歴史と未来の交流館」の建設に要する経費への基金造成		
総事業費	700, 000, 000	交付金充当額	700, 000, 000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	700, 000, 000	
交付金事業の成果目標		本村では第5次総合計画後期基本計画の政策4-2「村民が気軽に生涯学習や生涯スポーツ, 歴史・文化に触れ合えるまちをつくる」に掲げるとおり, 生涯学習施設の充実を図るとともに, 子どもから大人まで全ての村民が, ふるさとに対する誇りや生きがいを持って暮らすことにできる環境整備に取り組むこととしています。その具体的な取り組みの方向性として, 施策4-2-1「文化財の保存・活用を図る」, 施策4-2-2「生涯学習・文化・スポーツを振興する」, 施策4-2-3「青少年の健全育成を推進する」を掲げておりますが, 既存の生涯学習施設では, 機能面や設備面はもとより, スペース上の問題から, 施策の達成が難しい状況にあります。このことから, 新たに「(仮称) 歴史と未来の交流館」を建設することで, その具現化を図り, もって村民の福祉の向上を図るものです。		
交付金事業の成果指標		開館後の入館者数延べ15, 000人／年度の達成を目指します。		
交付金事業の成果及び評価		当基金の造成により, (仮称) 歴史と未来の交流館の建設への財政的基盤を築くことができました。また, 基金による財源の確保により, 計画的な工事の実施が可能となったことで, 開館後の入館者数延べ15, 000人／年度の達成を目指す施設への足掛かりとすることができました。今後は計画的な取り崩しにより, 施設の建設を図ってまいります。		
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	基金の造成	積立	—	700, 000, 000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
特になし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			平成32年度予定	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、電源用施設周辺地域整備法第1条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。